

第5回北海道産業人材育成企業知事表彰 応募企業一覧

資料4

| | 企業名（所在） | 事業概要 | 人材育成の取組方針等 | 能力・技術の開発制度 | 次世代の人材育成 |
|----|--------------------------------|------------------|--|--|---|
| A社 | 〇〇〇〇株式会社 （札幌市） 自薦 | 小麦粉、飼料用小麦粉の製造販売業 | ・毎年定める「食品安全・品質目標」に基づき、各部署からの目標を共有し、従業員の資質の向上及び業務上必要な知識、技術、資格等の推進のため、各部署での教育のほか、全社教育の場を四半期毎に行うなど、教育訓練を体系的に実施している。 | ・平成12年ISO9002の認証取得を契機に、社員の教育・訓練について体系的に実施するため「教育・訓練の手順書」を定め、製品要求事項の業務の洗い出しを行い、職位に必要な力量を明確化にし、個人の力量を評価した上で、不足している部分について教育・訓練を実施している。教育・訓練実施後は、力量を再評価し、不足する場合は再度教育・訓練を実施するなど徹底した人材育成を図っている。 ・OJTは全社教育の場を活用して日常業務のスキルアップに取り組むほか、各種講習会の受講や資格取得を会社負担（H27実績額1,502千円）とし、業務上必要な資格取得を積極的に推進している。 ・社内の資格認定制度として、内部品質監査員などの資格認定し、レベル評価を行っている。 | ・地元高校が行う企業訪問を積極的に受け入れ、工場見学や従業員へのインタビュー交流を行うことにより職業観を伝えている |
| B社 | 〇〇〇〇株式会社 （函館市） 〇〇〇推薦 | 乳製品製造業 | ・社内の人材育成については、全社員を対象とした食品衛生やISO14001、FSSC22000などの「全体教育」、経験年数や職責などに応じた「新入社員」「3年以降の中堅社員」「中堅社員・管理職」「社内特定作業員教育」を実施するなど教育訓練を体系的に実施している。 | ・社員の人材育成については、新入社員時の「新人研修」を経て、それ以降については全従業員が対象の「多能工マップ」という能力認定リストを用いて社員の知識・技能を把握し、不足しているポイントを中心に教育する。また、OFF-JTとして「社内講習会」を開催し、食品衛生、ISO14001、FSSC22000関連の講習会を実施している。その他通信教育の活用や中小企業大学校の外部講習を活用しており、各種講習会の受講や資格取得を会社負担（H27実績額938千円）とし、業務上必要な資格取得を積極的に推進している。 ・社内の資格制度として、官能評価員、理化学検査員、食品安全内部監査員などの資格認定している。 | ・中学生の職場見学を受け入れているほか、高校・高専・大学生のインターンシップを実施しており、座学での講義や職場体験を実施している。 ・乳関連の研究者育成のため、函館高専と産学連携に取り組んでいる。 |